



令和 2 年 9 月 1 1 日
内閣府（防災担当）

「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討について（概要報告）」の 追加資料の公表について

日本海溝・千島海溝沿いにおける最大クラスの地震・津波について、「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会」における検討結果を踏まえ、今後の防災対策の検討に資するため、断層モデル検討の基本的な考え方や震度分布、津波高、浸水域の推計結果を令和2年4月21日に公表しました。

4月21日の公表の際に、岩手県分については、復興まちづくりに影響することへの懸念等の声を考慮し公表を見送っていましたが、今般、準備が整いましたので岩手県分について公表致します。

1 公表資料

（別紙）のとおり

2 公表場所

「内閣府防災情報のページ」にて公表

http://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaiko_chishima/model/index.html

<本件問合せ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（調査・企画担当）付

企画官 古市 秀徳

参事官補佐 久保 剛太

電話：03-3501-5693

FAX：03-3501-6820

(別紙)

「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデルの検討について（概要報告）」の追加資料の公表について

追加資料1：日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波による浸水想定（岩手県〔三陸・日高沖モデル〕）

追加資料2：【参考：堤防破堤なし】日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波による浸水想定（岩手県〔三陸・日高沖モデル〕）